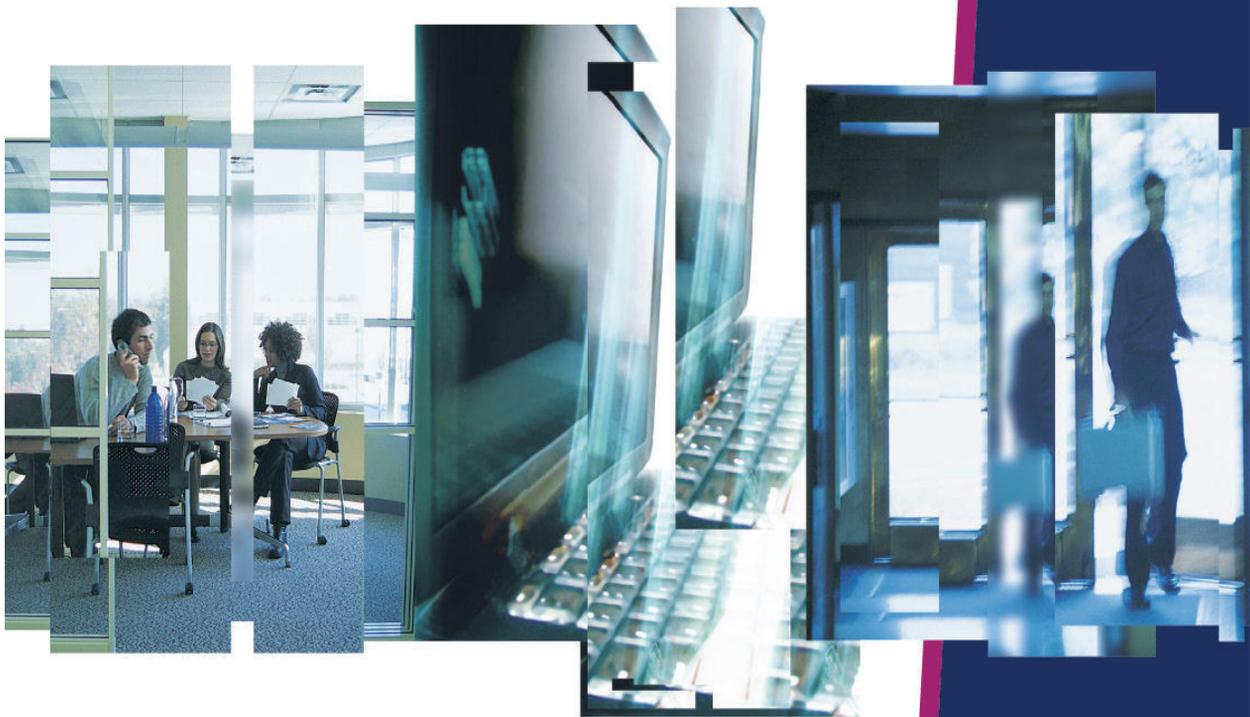


Telelogic

Tau[®]

インストールガイド



IBM[®]

インストールガイド

Telelogic Tau

本書は、Telelogic Tau バージョン 4.2、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

© Copyright IBM Corporation 1997, 2008.

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 106-8711
東京都港区六本木 3-2-12
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとなります。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、製造元に連絡してください。

Intellectual Property Dept. for Rational Software
IBM Corporation
1 Rogers Street
Cambridge, Massachusetts 02142
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されません。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

サンプルコードの著作権

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。

IBM の商標

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および Tau は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。IBM および関連の商標については、www.ibm.com/legal/copytrade.html をご覧ください。

他社の商標

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、Windows 2003、Windows XP、Windows Vista および / またはその他の Microsoft 製品は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Pentium は、Intel Corporation の商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

目次

本書について.....	1
本書の構成.....	1
表記規則.....	1
関連ドキュメント.....	1
1 Telelogic Tau のインストール.....	3
インストール前の手順.....	3
管理者権限が必要.....	3
ライセンス キーとインストールについて.....	3
Windows での Telelogic Tau のインストール.....	3
Windows で Telelogic Tau をインストールするには.....	3
Windows でのサイレントモード Telelogic Tau のインストール.....	4
Windows で Telelogic Tau をサイレントインストールするには.....	4
UNIX での Telelogic Tau のインストール.....	4
UNIX で Telelogic Tau をインストールするには.....	4
UNIX でのライセンス環境.....	5
UNIX でのプリンタおよびウィンドウの表示設定 (オプション).....	5
GNU C コンパイラのインストール (Windows のみ).....	5
GCC をインストールするには.....	5
ダウンロードまたはインストール終了後の手順.....	7
GCC をアンインストールするには.....	7
Telelogic Tau の起動.....	8
Windows で Telelogic Tau を起動するには.....	8
UNIX で 4.2 を起動するには.....	8
2 UNIX での Tau の設定.....	9
Tau と MainWin.....	9
コントロール	
パネル.....	10
コントロール パネルの起動.....	10
Tau ウィンドウの画面表示の設定.....	10
プリンタの設定.....	12
フローティング ツールバー.....	14
3 サポートへのお問合せ.....	15
製品サポート.....	15
その他の情報.....	15
索引.....	17

本書について

業界をリードする先進のモデル開発アプリケーション、Tau バージョン 4.2 へようこそ。

本書では、Tau をインストールして使い始めるための情報を提供します。

本書の構成

本書は、以下の章で構成されています。

- 第 1 章：Telelogic Tau のインストール方法について説明します。
- 第 2 章：UNIX 環境に固有な Telelogic Tau の設定について説明します。
- 第 3 章：サポートへの連絡方法を説明します。

Tau 日本語版では UNIX 環境をサポートしません。UNIX に関する記述は英語版を使用する際に参照してください。

表記規則

本書では以下の表記規則を使用しています。

書体または記号	意味
太字	本題名、重要な項目、を表します。
[]	ボタンやメニューなどの選択項目を表します。例：[はい] をクリックして続行します。
Courier	コマンド、ファイル、ディレクトリなど、コンピュータの出力を表します。例：.properties ファイルを編集します。
>	メニュー項目の選択を表します。例：[ファイル] > [開く] を選択します。これは、[ファイル] メニューを選択して、メニュー項目から [開く] コマンドを選択することを意味します。

関連ドキュメント

本書の PDF 版は以下から入手できます。

- Telelogic のサポートウェブサイト (<http://support.telelogic.com/>)

1

Telelogic Tau のインストール

- インストール前の手順
- Windows での Telelogic Tau のインストール
- Windows でのサイレントモード Telelogic Tau のインストール
- UNIX での Telelogic Tau のインストール
- GNU C コンパイラのインストール (Windows のみ)
- Telelogic Tau の起動

インストール前 の手順

管理者権限が必要

Telelogic Tau を正しくインストールするには、システム管理者権限を持つアカウントを使用してコンピュータにアクセスする必要があります。

ライセンス キーとインストールについて

Telelogic Tau では、ライセンスに FLEXnet を使用します。つまり、Telelogic Tau を使用するには FLEXnet ライセンス キーが必要です。ライセンス契約の種類によっては、ライセンス情報が電子メールで既に送付されていることもあります。ただし、新規ユーザーで初めてのライセンス契約の場合には、必ずしもこれには該当しません。

インストール時には、ライセンス情報（少なくとも、使用するコンピュータのホスト名とポート番号）を用意していることが前提になります。なお、ライセンス情報は後から追加することができ、インストールをやり直す必要はありません。

注記： 詳細は『Telelogic Lifecycle Solutions ライセンスガイド』を参照してください。このドキュメントは Telelogic サポートウェブサイト (<http://support.telelogic.com/>) からダウンロードできます。

Windows での Telelogic Tau の インストール

以下の手順の説明は、Telelogic サポートウェブサイト (<http://support.telelogic.com/download>) からソフトウェアを D:\win_clients\tau にダウンロードすることを、想定しています。

注記： GNU C コンパイラでは、ファイル名またはフォルダ名に空白文字を使用できません。このため、この制約を満たすインストールフォルダ名を指定する必要があります。この制約は、Tau のインストールと GCC のインストールの両方に適用されます。

Windows で Telelogic Tau をインストールするには

1. 管理者 (Administrator) としてログオンするか、または管理者 (Administrator) 権限が与えられていることを確認します。

2. 実行中の Windows プログラムをすべて終了します。
3. `D:\win_clients\tau-4200-setup.exe` ダブルクリックします。

Windows でのサイレントモード Telelogic Tau のインストール

以下の手順の説明は、Telelogic サポートウェブサイト (<http://support.telelogic.com/download>) からソフトウェアを `D:\win_clients\tau` にダウンロードすることを、想定しています。

Windows で Telelogic Tau をサイレントインストールするには

Tau を非会話型でインストール（サイレントインストール）するには、まず応答ファイルを記録する必要があります。

1. アドミニストレータでログインするか、現在のログインユーザーがアドミニストレータ権限を持っていることを確認します。
2. 実行中の Windows アプリケーションを終了します。
3. 以下の手順で応答ファイルを作成します。次のコマンドライン構文で会話型のインストールを行います：`tau-4200-setup.exe /r /f1<ファイル名>`

例 `D:\win_clients\tau>tau-4200-setup.exe /r /f1c:\temp\setup.iss`

4. 作成した応答ファイルを使用して、次のコマンドでサイレントインストールが実行できます：`tau-4200-setup.exe /s /f1<ファイル名>`

例 `D:\win_clients\tau>tau-4200-setup.exe /s /f1c:\temp\setup.iss`

UNIX での Telelogic Tau のインストール

UNIX で Telelogic Tau をインストールするには

注記： Telelogic Tau 日本語版では UNIX 環境をサポートしません。以下の記述は英語版を使用する際に参照してください。

1. Telelogic Tau をインストールする UNIX ホストにログオンします。
2. DVD を挿入するか、Telelogic サポートウェブサイトからソフトウェアをダウンロードして、解凍します。
3. DVD の `Tau/unix` ディレクトリで次のインストール スクリプトを実行します。

```
$ ./tauinst.cd
```

インストール スクリプトが起動し、その後のセットアップ方法が手順に従って表示されます。

UNIX でのライセンス環境

インストール時に、使用するライセンス サーバーとポート番号を質問されます。この情報は、FLEXnet ライセンス ファイルの 1 行目に記述されています。入力した情報が検証され、有効なライセンスが検出されると、インストール ディレクトリに `license.dat` ファイルが作成されます。このファイルは、Telelogic Tau のライセンス環境を定義します。これにより、すべてのユーザがライセンス環境変数を設定せずに、直接 Telelogic Tau を起動できるようになります。

サーバー名とポート番号のいずれかまたは両方がわからない場合、あるいはライセンスが検証できない場合は、インストールディレクトリに `license.txt` ファイルが作成されます。正確な情報がわかったら、ファイルのサーバー名とポート番号を正しい値に置き換え、ファイル名を `license.dat` に変更してください。

UNIX でのプリンタおよびウィンドウの表示設定（オプション）

UNIX で Tau を使用する前に、PostScript プリンタを設定すると便利です。また、Tau で使用するウィンドウの表示を設定することもできます（これは後で行うこともできます）。プリンタとウィンドウの表示は、Tau と同梱のコントロールパネルを使用して設定します。詳細については、10 ページの「コントロールパネル」を参照してください。

GNU C コンパイラのインストール（Windows のみ）

モデルベリファイヤ（Model Verifier）の機能を使用する場合、サポートされる C/C++ コンパイラがインストールされていない環境では、モデルベリファイヤ（Model Verifier）を起動するために無償の GNU C コンパイラ（GCC）をインストールできません。

Tau と GCC のインストールは、どちらを先に行ってもかまいません。

注記： GNU C コンパイラでは、ファイル名またはフォルダ名に空白文字を使用できません。このため、この制約を満たすインストールフォルダ名を指定する必要があります。この制約は、Tau のインストールと GCC のインストールの両方に適用されます。

GCC をインストールするには

1. GCC は、Cygwin のホームページからインストールします。
<http://www.cygwin.com>
2. Cygwin Setup 画面
 - [次へ] をクリックします。
3. Disable Virus Scanner ? 画面
 - インストール中 Virus Scan を無効にするかそのままにするかを選択します。詳細については、システム管理者にお問い合わせください。
4. Choose Installation Type 画面
 - [Install from Internet] を選択します。
 - [次へ] をクリックします。
5. Choose Installation Directory 画面
 - Root Directory : デフォルト (C:\Cygwin) を使用します。このパスにスペースが入っていないことを確認してください。
 - Install For : [All users] を選択します。
 - Default Text File Type : [Unix] (デフォルト) を選択します。
 - [次へ] をクリックします。
6. Select Local Package Directory 画面

- **Local Package Directory** : (例) **C:\¥tmp** このパスにスペースが入っていないことを確認してください。このフォルダにはダウンロードされたファイルが配置されます。インストール完了後、削除してもかまいません。
 - [次へ] をクリックします。
7. **Select Connection Type** 画面
- 接続方法の詳細については、ネットワーク管理者にお問合せください。
 - [次へ] をクリックします。
8. **Choose Download Site(s)** 画面
- ダウンロードサイトを選択します。
 - [次へ] をクリックします。
9. **Select Packages** 画面
- デフォルトの設定では不十分です。**compiler** と **make** ツールをインストールするには、[Devel] の右の [Default] を、図のように [Install] と表示が出る (6 ページの図 1) までクリックします (若干の時間を要します)。
 - [次へ] をクリックします。

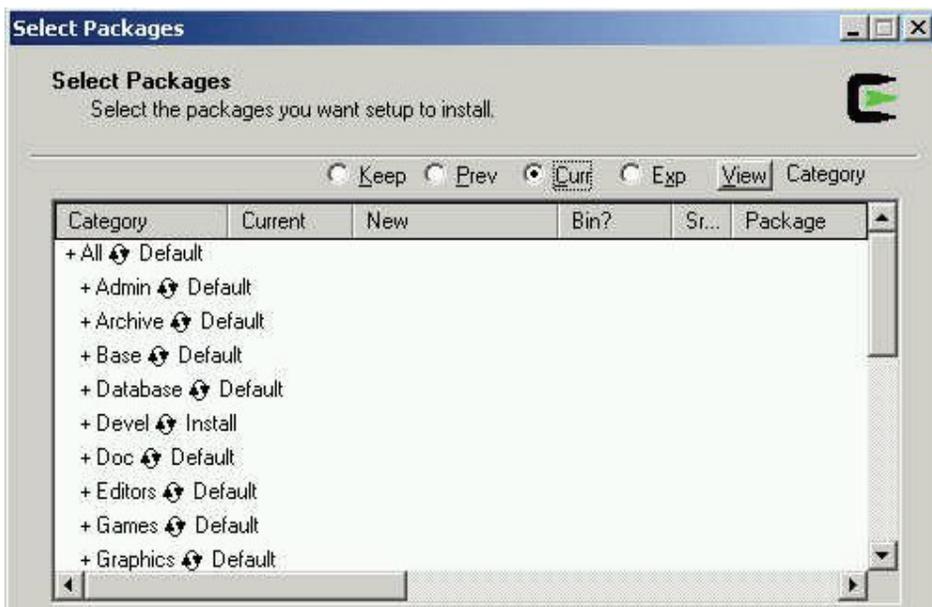


図 1: Select Packages 画面

ダウンロードまたはインストール終了後の手順

1. Create Icons 画面

- Create Icon On Desktop (デフォルトでは on)
- Add icon to Start Menu (デフォルトでは on)

- [完了] ボタンを押します。これにより "Cygwin Setup Post-Install Script" が実行されます。(若干の時間を要します。)
2. Cygwin Setup 画面
 - [OK] ボタンをクリックします。
 3. PATH 環境変数に、Cygwin をインストールした際に作成された bin ディレクトリまでのパスを追加します (例 C:¥Cygwin¥bin)。
これでインストールは完了です。

GCC をアンインストールするには

1. インストールパッケージを選択した場合を除き、インストール時と同様の手順に従います。Default が **Uninstall** になるまで、上位ノードをクリックします。

Telelogic Tau の 起動

Windows で Telelogic Tau を起動するには

[スタート] メニューから Telelogic Tau を起動します。[すべてのプログラム] サブメニューから [Telelogic] を選択し、[Telelogic Tau 4.2] をクリックします。

UNIX で 4.2 を起動するには

注記： Telelogic Tau 日本語版では UNIX 環境をサポートしません。以下の記述は英語版を使用する際に参照してください。

環境を設定し、次のフルパス名を入力して Telelogic Tau を起動します。

```
<installation path>/bin/tau
```


2

UNIX での Tau の設定

この章では Tau を使用できるよう UNIX 環境を設定する方法について説明します。

注記： Tau/Developer 日本語版では UNIX 環境をサポートしません。以下の記述は英語版を使用する際に参考にしてください。

- Tau と MainWin
- コントロールパネル
- フローティング ツールバー

Tau と MainWin

UNIX プラットフォームの Tau では、UNIX 環境の Win32 API にアクセスするため、サードパーティのソフトウェア MainWin を使用します。このように MainWin を使用することで、UNIX でも Windows とほぼ同様の Tau の動作とルック アンド フィールを得られます。例外については、10 ページの「コントロールパネル」と 14 ページの「フローティング ツールバー」で説明しています。

レジストリ

MainWin を使用して実行するアプリケーション (Tau など) には、Windows レジストリのサブセットが必要です。このサブセットは regedit アプリケーションから取得できますが、修正はできません。

重要！

注記： 特に指示がない限り、レジストリ キーの修正または削除は行わないでください。修正または削除を行うと、Tau のインストールが破損するおそれがあります。

コントロール パネル

MainWin によって実装すれば、Tau でもコントロールパネルを使用できます。このコントロールパネルには一連のユーティリティがあり、Windows 環境と同じようにプロパティを設定できます。

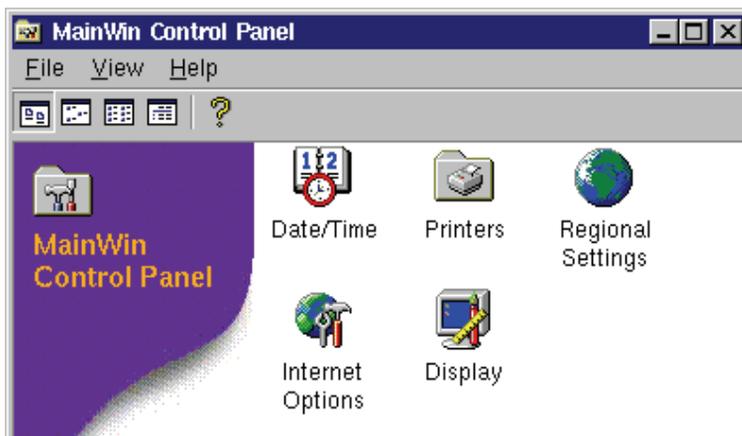


図 2: コントロールパネル

コントロールパネルの起動

コントロールパネルは以下のコマンドで起動します。mwcontrol (mwcontrol は Tau インストールの bin ディレクトリにあります)。

このコマンドで、Windows のコントロールパネルと同じような形状と機能を持つアイコンのあるウィンドウが開きます。

Tau で設定する必要があるのは、プリンタと画面表示のみです。

Tau ウィンドウの画面表示の設定

[Display] アプレットには Windows の画面のプロパティと同様のサブセットがあります。Tau アプリケーションで使用するウィンドウの表示 (ウィンドウのフォントサイズとフォントファミリー、メニューバー、スクロールバー、ボタンの色とサイズなど) を設定する場合、[Display] アプレットを使用します。

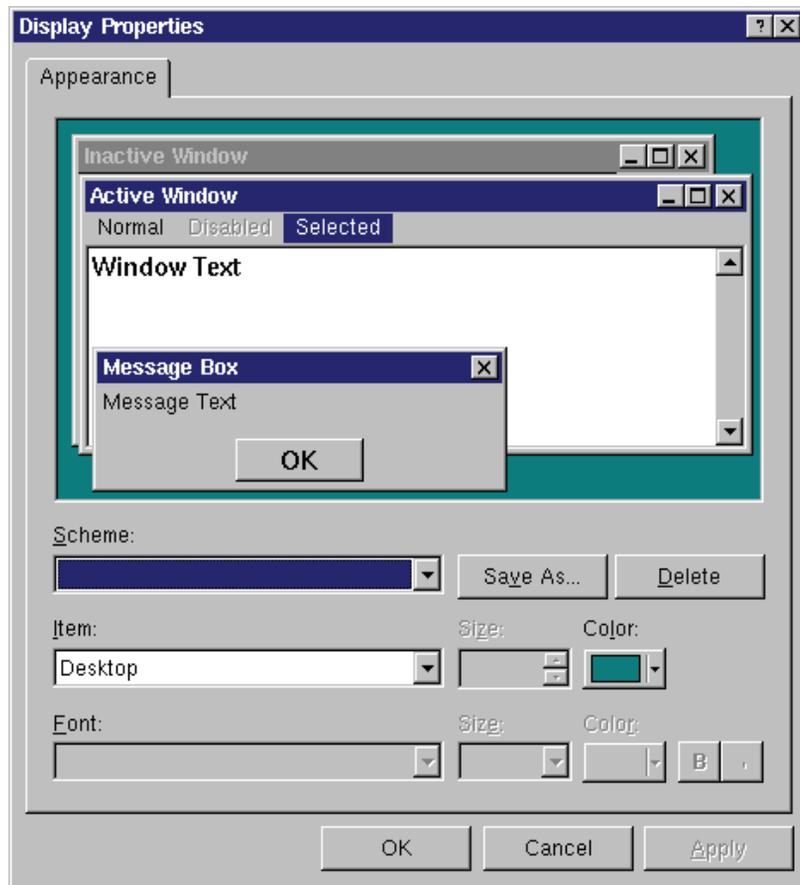


図 3: Tau ウィンドウの画面表示の設定

[Display] アプレットを使用して画面表示を変更すると、変更を保存した後に開始した Tau のセッションからこの変更が反映されます。表示の変更時に Tau のセッションを実行中だった場合、変更を反映させるためには Tau を再起動する必要があります。

注記： [Display Properties] の設定は、UNIX のデスクトップには影響しません。また、Tau で管理するダイアグラムの色、間隔、フォントプロパティにも影響しません。これらのプロパティを変更するには、Tau の [ツール] メニューの [オプション] コマンドを使用します。

プリンタの設定

[Printers] アプレットは Windows の [Printers] アプレットと似ています。Windows と異なる点は、プリンタの設定時に Tau で使用する実際のプリンタをマッピングしないことです。その代わりに、UNIX ホストの適切な出力コマンドに出力要求をマッピングします。このように、新しい出力機能の追加手順は Windows と少し異なります。



図 4: プリンタの設定

注記： [Printers] アプレットを使用して行った変更は、変更と同時に同じコンピュータで実行中の Tau のセッションに反映されます。他のコンピュータで稼動する Tau のインスタンスは、変更を反映させるために再起動する必要があります。

PPD (PostScript プリンタ記述) ファイル

PPD (PostScript プリンタ記述) ファイルには、特定の PostScript プリンタに固有の機能の使用法が記述されています。このプリンタ固有の機能（両面印刷や用紙トレイの選択など）を活用するには、PPD ファイルが必要です。ほとんどのプリンタベンダが自社のプリンタの PPD ファイルを用意しています。便宜性を高めるため、通常 Windows で提供される多様な PPD ファイルサブセットが Tau にも用意されています。また、どの PostScript プリンタにも対応できるように、汎用 PostScript プリンタの PPD ファイルも用意されています。

また、[Printers] アプレットからは、以下で説明する [Add New Printer] ウィザードも開始できます。

注記： 旧バージョンの Mainwin を使用するアプリケーションですでにプリンタをインストールしている場合、同じプリンタを再インストールする必要はありません。[Printers] アプレットには、既存のプリンタをインポートするためオプションが [Tools] メニューにあります。インポートしたプリンタにはデフォルトの PPD ファイルが関連付けられますが、プリンタのすべての機能にはアクセスできません。

プリンタの追加

1. このウィザードを開始するには、まず [mwcontrol] コマンドを入力してコントロールパネルを起動し、次に [Printers] をダブルクリックします。

2. そして [Add New Printer] をダブルクリックして、[Add New Printer] ウィザードを開始します。
 - [Next] と [Back] ボタンを使用して、いつでも [Add New Printer] ウィザード内で前後に移動できます。
3. [Next] をクリックして、使用する UNIX プリンタを選択します。
 - ダイアログの下に、UNIX ホストで定義されたプリンタのリストと説明が表示されます。プリンタのリストは /etc/printcap ファイルから抽出されます。このファイルには、UNIX ホストがアクセス権を持つネットワーク上の全プリンタのリストが含まれます。printcap ファイルは、すべての UNIX プラットフォームでプリンタを指定するセントラルロケーションとして使用されます。これは、システム管理者が設定と管理を行います。
 - 追加するプリンタがリストにある場合は、それを選択します。
 - リストにないプリンタを追加する場合、UNIX のプリンタテキスト入力フィールドにプリンタの UNIX 名を入力します。
4. [Next] をクリックして、選択したプリンタにデフォルトのプリント コマンドを指定します。
 - 通常、デフォルト コマンドの使用は必須です。このコマンドを変更する前にシステム管理者に確認する必要があります。
 - 前のステップでプリンタの UNIX 名を手動で追加した場合は、プリント コマンドはこの名前を自動的に使用します。
5. [Next] をクリックして、プリンタの製造メーカーと機種、および適切な PPD ファイルを指定します。
 - 独自の PPD ファイルがある場合、[Choose File] をクリックして PPD ファイルの場所を特定します。ファイルの名前と場所を指定したら（フルパス名を使用）、[OK] をクリックします。
 - ディレクトリ \$MWHOME/system/ppd への書き込み権限がなければなりません。あるいは、書き込み権限のあるディレクトリに MWPPD_DIR 環境変数を設定する必要があります。
 - [Choose PPD File] ページで何も選択しないと、デフォルトで汎用の PPD ファイルが自動的に選択されます。
6. [Next] をクリックして、独自のプリンタ名と説明を指定します。
 - [Add New Printer] ウィザードにはデフォルトのプリンタ名が用意されていますが、これは [Printer Name] テキストボックスで変更できます。
 - [Printer Description] テキストボックスには Microsoft Windows と同じ機能があります。このフィールドはブランクのままにしておかまいません。
7. [Next] をクリックして、このプリンタをデフォルトとして使用するかどうか決定します。
 - このプリンタが初めて設定するプリンタの場合、ウィザードに [Default Printer] ページは表示されません。次に別のプリンタを追加すると、デフォルトのプリンタを選択するページが表示されます。
8. [Next] をクリックします。次に、Windows の場合と同様に、ウィザードからテストページを出力するかどうか尋ねられます。テストページでは追加プリンタの機能など、さまざまな情報が提供されます。

9. [Next] をクリックして、[Add New Printer] ウィザードで指定した情報が正確であることを確認します。

- 設定に問題がなければ、[Finish] をクリックします。
- 問題がある場合は、[Back] をクリックして設定を変更します。

ここで追加したプリンタが、前に追加したプリンタとともに、[Printers] アプレットに表示されます。

フローティング ツールバー

フローティングツールバーのある Tau アプリケーションを実行する場合、UNIX ではこのツールバーの動作が Windows と少し異なります。

Windows 版の動作	UNIX 版の動作
フローティング ツールバー ウィンドウのタイトルバーをダブルクリックすると、アプリケーション ウィンドウの元の位置、メニューバーの下にこのツールバーが戻されます。	フローティング ツールバーのタイトルバー ウィンドウをダブルクリックしても、何も起こりません。ツールバーをアプリケーション ウィンドウの元の場所に戻すには、ツールバー ウィンドウの左上隅のシステム メニューをクリックして、[Redock] を選択します。
フローティング ツールバー ウィンドウをアプリケーション ウィンドウのツールバー エリアにドラッグすると、ドロップした際のツールバーのサイズと場所を示す矩形が表示されます。	フローティング ツールバー ウィンドウをアプリケーション ウィンドウのツールバー エリアにドラッグしても、アプリケーション ウィンドウのツールバーのサイズと場所を示す矩形は表示されません。その代わりに、フローティング ツールバー自体がドラッグされます。ドロップすると、ツールバーはアプリケーション ウィンドウ内に正確に配置されます。

3

サポートへのお問合せ

この章では以下のトピックについて説明します。

- Telelogic 製品のサポートと情報は、Telelogic サポートサイトから **IBM Rational Software Support** に移行中です。この移行期間中は、サポートの連絡先がお客様によって異なります。

製品サポート

- 2008 年 11 月 1 日より前に Telelogic 製品を取引されたお客様は、Tau サポート ウェブサイトをアクセスしてください。製品情報の移行後に、**IBM Rational Software Support site** に自動で転送されます。
- 2008 年 11 月 1 日より前に Telelogic 製品のライセンスをお持ちではなかった新規のお客様は、[IBM Rational Software Support site](#) をアクセスしてください。

お客様サポートにお問い合わせいただく前に、問題を説明するために必要な情報をご用意ください。IBM ソフトウェアサポート担当員に問題を説明する際には、担当員が迅速に問題を解決できるように、問題の具体的な内容と必要な背景情報をすべて伝えてください。あらかじめ以下の情報をご用意ください。

- 問題発生時に使用していたソフトウェアとそのバージョン
- 問題に関連したログ、トレース、メッセージなど
- 問題を再現できるかどうか。再現できる場合はその手順
- 回避策があるかどうか。ある場合は、その回避策の内容

その他の情報

Rational ソフトウェア製品、ニュース、イベント、その他の情報については、[IBM Rational Software Web site](#) をご覧ください。

索引

G

GCC 5
GNU C コンパイラ 5

M

MainWin 9
mwcontrol 10

P

PPD、PostScript プリンタ記述ファイル
12
PPD (PostScript プリンタ記述) ファイル
12

U

UNIX
インストール 4

W

Windows
インストール 3, 4
Windows レジストリ (UNIX 版) 9

う

ウィンドウ
表示 (UNIX 版) 10

か

カスタマ サポート
一般情報 15

こ

コントロールパネル (UNIX 版) 10

し

システム管理者権限 3

せ

設定

UNIX でのプリンタ設定 5

た

ダウンロード 3, 4

つ

ツールバー
UNIX 14

ひ

表記規則 1

ふ

フローティング ツールバー (UNIX 版)
14

も

モデル ベリファイヤ
GNU C コンパイラ 5

